岐阜工業高等専門学校	開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	美術（後期）

科目基礎情報

科目番号	0008	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	人文教育	対象学年	1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	適宜、教員が指示する。		
担当教員	山本 卓見		

到達目標

1　各自の自由なイメージによる作品を制作する。
2　柔軟な発想力、多様な表現力を養う。
3　日常における美意識を高め、豊かな感性を育てる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	自由なイメージを、ほぼ正確（8割以上）に具象化することができる。	自由なイメージを、ほぼ正確（6割以上）に具象化することができる。	自由なイメージを、具象化することができない。
評価項目2	柔軟な発想力を、ほぼ十分（8割以上）に身につけることができる。	柔軟な発想力を、ほぼ十分（6割以上）に身につけることができる。	柔軟な発想力が身についていない。
評価項目3	日常における美意識を、ほぼ十分に(8割以上)に高めることができる。	日常における美意識を、ほぼ十分に(6割以上)に高めることができる。	日常における美意識を高めることができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	制作を中心に行うので、材料・道具・画材など、各自必要とするものをしっかり準備する。自分自身のイメージの表現に徹すること。
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	授業概要・制作課題の説明	
		2週	自画像（自己の発見と表現） 鉛筆・絵の具・クレヨンなど、あらゆる画材・技法を用いて自己表現する。	
		3週	自画像	
		4週	作品発表会・講評・制作コンセプトのレポート提出。	
		5週	平面課題（想像力と表現力の融合） 日本のイメージを、塗る・描く・貼るなどあらゆる技法・画材を用いて表現する。	
		6週	平面課題	
		7週	平面課題	
		8週	作品発表会・講評・制作コンセプトのレポート提出	
	4thQ	9週	立体課題（表現領域の拡大） 生活廃材を素材に、心の中の情景（過去・現在・未来）を立体作品として表現する。	
		10週	立体課題	
		11週	立体課題	
		12週	立体課題	
		13週	立体課題	
		14週	立体課題	
		15週	作品発表会・講評・制作コンセプトのレポート提出	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	課題作品	製作レポート	合計
総合評価割合	300	150	450
基礎的能力	200	100	300
専門的能力	100	50	150